

令和7年度 当初予算の概要



紀宝町



目次

予算編成の基本方針	・・・ P. 1
令和7年度当初予算会計別総括表	・・・ P. 2
令和7年度一般会計予算（歳入）	・・・ P. 3
令和7年度一般会計予算（歳出・款別）	・・・ P. 4
主要事業一覧	・・・ P. 5～P. 32

予算編成の基本方針

「海・山・川の恵みに抱かれ、ともに輝き創造するまち」を将来像として、町民一人ひとりが地域に愛着を持って歩みを進めるとともに、みんなが主役のまちづくりを進めております。

令和7年度予算編成にむけては、「第2次紀宝町総合計画」後期基本計画及び「第2次紀宝町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の4年目に入り、「健康と生活を守り安心して暮らせるまちづくりの推進」、「住民との連携によるさらなる福祉サービスの向上」、「教育・子育て環境の充実」、「防災・減災、高速道路時代に相応した情報発信と産業振興」、「若い世代が地域で活躍できる環境づくり」の5つの柱を念頭におき、引き続き、各分野の施策や事業を着実に展開していきます。

5つの基本目標

「第2次紀宝町総合計画」及び「第2期紀宝町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づいて下記の5つの基本目標を設定しております。

- 基本目標1** 自然と共生し、安全・安心で快適に暮らせるまちづくり
- 基本目標2** とともに支え合う、やさしさあふれるまちづくり
- 基本目標3** 賑わいと活力あふれる産業・交流のまちづくり
- 基本目標4** いつでもどこでも学べる教養豊かなまちづくり
- 基本目標5** 住民と行政の協働によるまちづくり

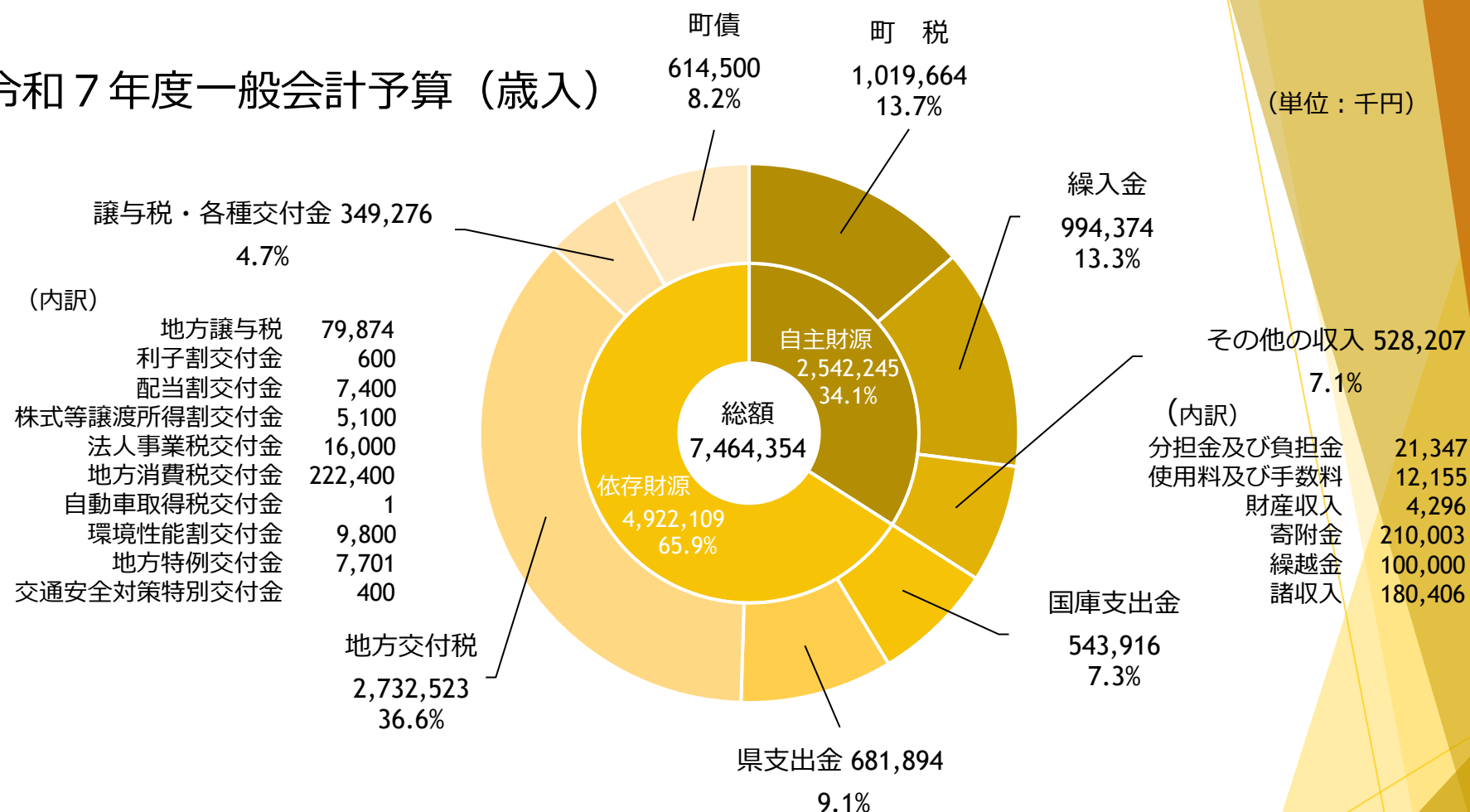
令和 7 年度当初予算会計別総括表

(単位：千円)

会 計	令和 7 年度	令和 6 年度	増 減	
一般会計	7,464,354	6,789,699	674,655	9.9%
特別会計	1,760,286	1,836,191	▲ 75,905	▲4.1%
国民健康保険特別会計	1,253,026	1,352,543	▲ 99,517	▲7.4%
後期高齢者医療特別会計	362,103	342,169	19,934	5.8%
診療所事業特別会計	107,380	111,877	▲ 4,497	▲4.0%
訪問看護ステーション事業特別会計	37,777	29,602	8,175	27.6%
公営企業会計	744,650	627,072	117,578	18.8%
水道事業特別会計	485,760	382,383	103,377	27.0%
町営浄化槽整備推進事業特別会計	258,890	244,689	14,201	5.8%
合 計	9,969,290	9,252,962	716,328	7.7%

令和7年度一般会計予算（歳入）

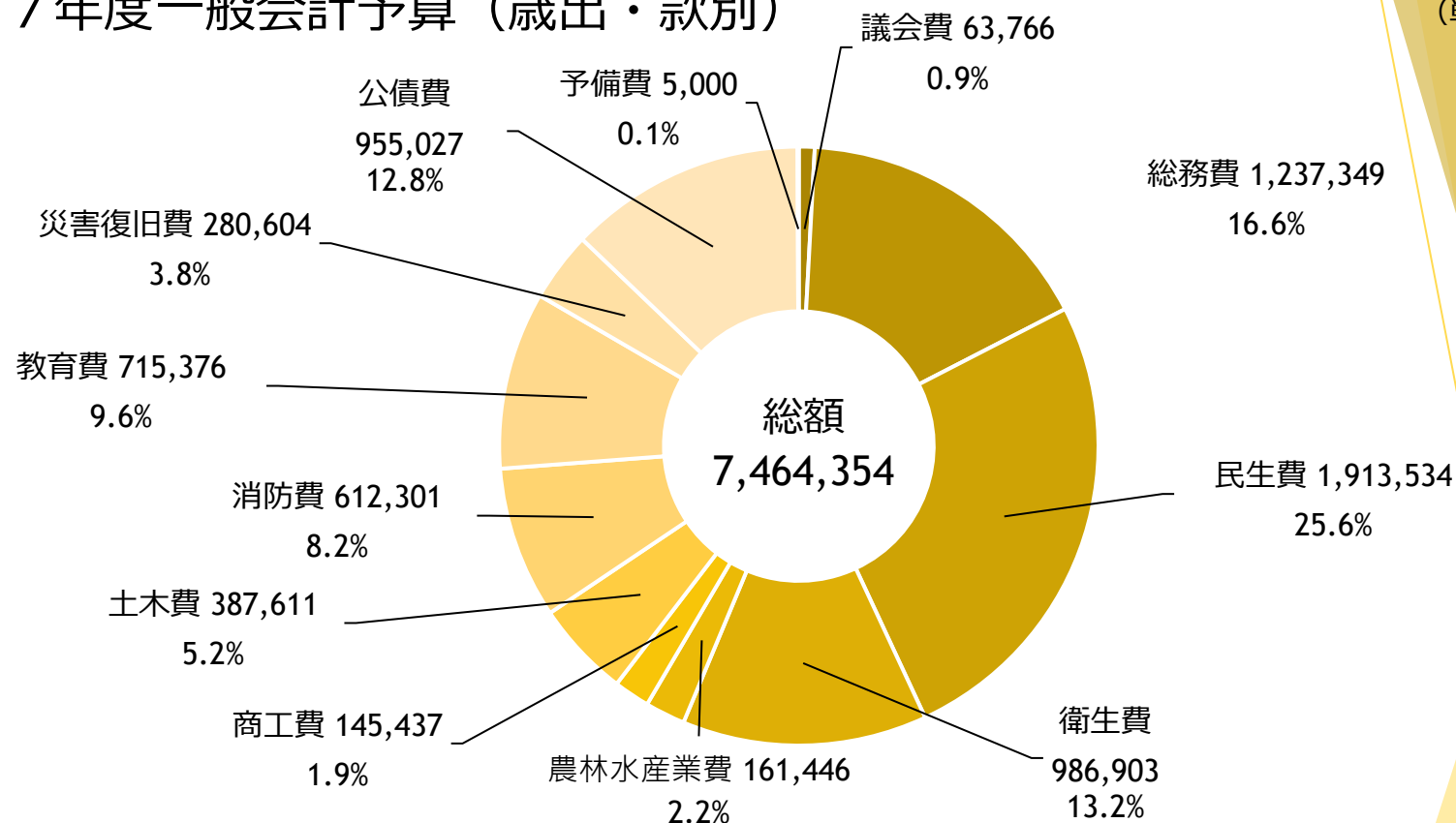
（単位：千円）



歳入では、県支出金は、浅里地区地滑りに伴う町道及び林道災害復旧工事による補助金等の増額を見込んでおり、前年度より3億850万5千円増の6億8,189万4千円を計上しています。国庫支出金は、住基システム等の標準化移行に伴う補助金等の増額を見込んでおり、前年度より1億5,196万3千円増の5億4,391万6千円を計上しています。町債は、給食センター改修事業等の終了により、前年度より7,336万6千円減の6億1,450万円を計上しています。

令和7年度一般会計予算（歳出・款別）

（単位：千円）



歳出では、災害復旧費は、浅里地区地滑りに伴う町道及び林道災害復旧工事を行うため、前年度より2億8,029万9千円増の2億8,060万4千円を計上しています。総務費は、住基システム等の標準化移行費用等が増額したため、前年度より2億3,287万円増の12億3,734万9千円を計上しています。教育費は、給食センター改修工事や鵜殿体育館改修工事等の終了により、前年度より9,522万3千円減の7億1,537万6千円を計上しています。

基本目標1. 自然と共生し、安全・安心で快適に暮らせるまちづくり①

蓄電池式避難誘導灯整備事業 15,610千円

継続

停電時や夜間の避難がスムーズにできるよう避難場所及び主要避難路に、蓄電池式の外灯を整備します。

- ・ 神内地区
 - ・ 鮎田地区
 - ・ 高岡地区
- 合計70基新設予定



担当課:防災対策課

避難誘導看板整備事業 2,695千円

新規

誰もがわかり易く、より安全・安心な避難路にするため、夜間でも確認できる蓄光式避難路誘導看板を整備します。

- ・ 鵜殿地区
- ・ 成川地区
- ・ 井田地区



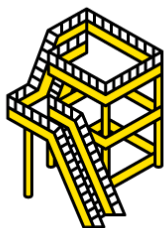
担当課:防災対策課

津波避難タワー整備事業 159,000千円

継続

近くの安全な高台等への避難が困難と想定される地域に、緊急的に一時避難するための避難タワーを整備します。

- 設置予定場所
- ・ 鵜殿地区:1箇所



担当課:防災対策課

防災情報共有システム改修事業 48,500千円

新規

現行システム機能の強化を図るとともに、住民向けアプリを導入し、容易に情報が得られるようシステム改修を行います。



担当課:防災対策課

基本目標1. 自然と共生し、安全・安心で快適に暮らせるまちづくり②

木造住宅耐震診断事業 3,300千円

拡充

地震に強いまちづくりを進めることを目的として、旧建築基準法（昭和56年5月以前）で建てられた木造住宅を対象に、耐震診断を無料で実施します。



担当課：防災対策課

木造住宅耐震補強補助事業 23,850千円

拡充

地震による住宅の倒壊を防ぐため、旧建築基準法（昭和56年5月以前）で建てられた木造住宅に対し、耐震設計・耐震補強工事・リフォームにかかる費用の一部を補助します。

補助内容

耐震設計：最大34万円

補強工事：最大157.5万円

リフォーム：事業費の1/3
（最大20万円）



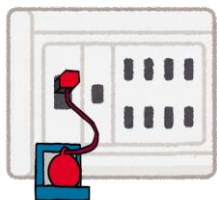
担当課：防災対策課

感震ブレーカー購入補助事業 3,000千円

継続

地震に伴う通電火災を予防することを目的に、地震の揺れによってブレーカーが自動的に落ちる機器の購入にかかる費用の一部を補助します。

補助上限：最大3,000円



担当課：防災対策課

消防団車両更新事業 8,800千円

継続

消防車両の更新計画に基づき、消防団第2分団に配備している小型動力ポンプ積載自動車を更新します。



担当課：防災対策課

基本目標1. 自然と共生し、安全・安心で快適に暮らせるまちづくり③

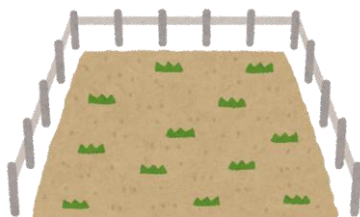
町有地造成・分譲事業 400千円

継続

移住定住の促進を図るため、造成した町有地を分譲します。

区画：7区画

場所：鵜殿上野平地区



担当課：企画調整課

若者応援民間賃貸住宅家賃助成事業
2,400千円

継続

若者の定住を促進し、地域の活性化を図るため、R6.4.1以降に転入・転居された方を対象に、町内の民間賃貸住宅の借上げに対し、助成します。

対象：40歳未満

補助内容：月額家賃の1/2
(月額上限2万円、最長24か月)



担当課：企画調整課

マイホーム取得資金利子補給金事業 3,500千円

継続

R6.4.1以降に金融機関からマイホーム取得資金の融資を受け、町内に本人及びその家族が居住する新築または中古住宅を取得した方へ融資利子に対し、補給金を支給します。

(最初の償還月から起算して60カ月、申請年度中に支払った利子の1/2以内の額、上限10万円、年齢制限なし)



担当課：企画調整課

避難行動要支援者名簿システム構築導入事業
1,894千円

新規

名簿システムの導入により、避難行動要支援者名簿作成の作業時間の短縮と名簿管理を効率的に行い、また要支援者の状況の記録管理等を行い個別避難計画の作成につなげます。



担当課：福祉課

基本目標1. 自然と共生し、安全・安心で快適に暮らせるまちづくり④

災害避難時タクシー利用料助成事業 300千円

新規

高齢化や障がいにより移動が困難な要支援者が、台風や災害などの発生に備えて避難する際のタクシー利用料金の一部を助成します。

補助内容：上限2,000円

(一般タクシーで片道利用の場合)

上限3,000円

(介護タクシーで片道利用の場合)

※タクシーで往復利用の場合、
片道利用の2回までの上限を助成

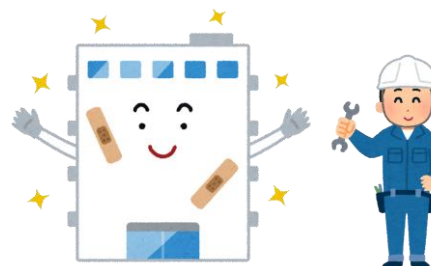


担当課：福祉課

紀宝町福祉センター設備等改修事業 10,717千円

新規

安定した事業継続のため、紀宝町福祉センターの受変電設備やエレベーター等の改修を行います。



担当課：福祉課

特殊詐欺等被害防止機器購入費補助事業 300千円

新規

特殊詐欺などの犯罪を抑止するため、電話機等の購入および設置にかかる費用の一部を補助します。

補助内容：購入費用1/2
(上限1万円)



担当課：産業振興課

自転車用ヘルメット購入補助事業 400千円

継続

自転車用ヘルメットの着用を促進するため、ヘルメット購入者に対し、費用の一部を補助します。

補助内容：購入費の1/2
(最大2,000円)

※使用者1人につき、
ヘルメット1個かつ1回限り



担当課：総務課

基本目標2. とともに支え合う、やさしさあふれるまちづくり①

障がい者グループホーム整備費補助金
3,000千円

新規

障がいのある方の自立した生活の促進を図ることなどを目的にし、施設の建設、改修、備品購入等にかかる費用を一部補助します。



担当課:福祉課

保育所等給食費無償化事業 8,806千円

継続

子育て支援、少子化対策として、保育所等の給食費の無償化を実施します。

- ・ 保育所：805.2万円
- ・ 児童発達支援施設：75.4万円



担当課:福祉課

保育所保育料等第2子以降無償化事業
6,324千円

継続

子育て支援、少子化対策として、第2子以降の保育所保育料等の無償化を実施します。

- ・ 保育所：604.8万円
- ・ 児童発達支援施設：27.6万円



担当課:福祉課

放課後児童クラブICT環境整備事業 1,226千円

新規

放課後児童クラブにおける業務のICT化を推進し、保護者の利便性の向上、負担軽減、及び支援員の業務軽減につなげ、学童保育の質の向上を図るため、放課後児童クラブ業務支援システムを導入します。



担当課:福祉課

基本目標2. とともに支え合う、やさしさあふれるまちづくり②

地域活動支援センター事業 4,000千円

新規

障がいのある方の地域生活支援の促進を図るため、創作的活動又は生産活動の機会の提供や、社会との交流の促進等の便宜を供与する地域活動支援センターの機能を強化します。



担当課:福祉課

生活困窮者支援等のための地域づくり事業 3,319千円

新規

地域住民のニーズ・地域課題の把握、地域コミュニティを形成する居場所づくり等を通じて、身近な地域における共助の取組みを活性化させ、地域福祉の推進を図ります。



担当課:福祉課

ひとり親家庭等日常生活支援事業 (ヤングケアラー対策事業) 731千円

新規

母子家庭、父子家庭及び寡婦の皆さんが、安心して子育てをしながら生活することができる環境をつくるため、仕事や疾病などにより一時的に家事援助、保育等のサービスが必要の際に、家庭生活支援員を派遣します。

【利用者負担】

- ① 生活保護受給世帯、町民税非課税世帯：無料
- ② 児童扶養手当受給水準世帯
(生活援助：1時間150円、子育て支援：1時間70円)
- ③ ①、②以外の世帯
(生活援助：1時間300円、子育て支援：1時間200円)



担当課:福祉課

福祉医療費窓口無料化システム改修事業 385千円

新規

国民健康保険加入者が、和歌山県新宮市内の医療機関を受診した際の窓口無料化の対象年齢を未就学児から18歳年度末まで拡充するために、システムを改修します。

- ・子ども医療費
- ・一人親家庭等医療費
- ・障がい者医療費



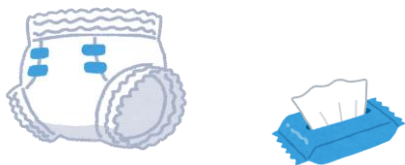
担当課:福祉課

基本目標2. とともに支え合う、やさしさあふれるまちづくり③

子育て用品支給事業 682千円

継続

育児にかかる経済的な負担を軽減し、安心して子育てができる環境を提供するため、1歳までの乳児を養育している家庭へ、おむつやおしりふきなどの子育て用品等を支給します。



担当課:みらい健康課

予防接種補助事業 7,308千円

新規

拡充

新たに带状疱疹予防接種（定期接種以外）と子どもの季節性インフルエンザ予防接種に係る費用の一部を補助します。また、現行のおたふくかぜ予防接種に係る費用の一部補助内容を拡充します。

新規：【带状疱疹】

不活化ワクチン 10,000円×2回

生ワクチン 4,000円×1回

【子どもの季節性インフルエンザ】

13歳未満 1,500円×2回

13歳以上 1,500円×1回

拡充：【おたふくかぜ】

対象者 就学前児童

補助額 4,000円

補助回数 2回分

担当課:みらい健康課

健康まつり事業 1,219千円

新規

心身ともに健康な生活を送るため、町民が自分の健康に関心を持ち、自分に合った健康づくりの方法を見つけるなど健康づくりへの意識の高揚を図るため、「健康まつり」を開催し、各種検診、検査、測定などを行います。



担当課:みらい健康課

きほう健康ふらぎ地域支援保健事業 474千円

新規

町民の健康状態を把握し、健康的な生活を送るための支援を行うことを目的とし、保健師が定期的に町内の商業施設や事業所、町民の方々が集まる活動場所等へ巡回したり、ご自宅を訪問し、健康相談等を行います。



担当課:みらい健康課

基本目標3. 賑わいと活力あふれる産業・交流のまちづくり①

若者定住促進奨学金返還支援事業 800千円

継続

若者の移住定住の促進を図るため、返還した奨学金の全額または一部を支給します。

補助内容：最大10万円/年
(最長5年)

※基準日時点で39歳以下



担当課：企画調整課

活力あふれる若者定住応援事業 1,000千円

継続

若者の移住定住の促進を図るため、高校・大学等を卒業後または町外から転入し、地元企業等に就職した方等に市町村民税相当額を支給します。

補助内容：最大5万円/年
(最長5年)



担当課：企画調整課

婚活支援事業 2,399千円

継続

当地域内での出会いの場を創出し、婚活を支援するため、婚活イベントや交流イベント及び婚活セミナーを開催します。



担当課：企画調整課

移住体験ツアー負担金 250千円

継続

尾鷲市・熊野市・御浜町との合同により都市部等に在住する移住検討者に対し、田舎暮らし体験ツアーを実施します。



担当課：企画調整課

基本目標3. 賑わいと活力あふれる産業・交流のまちづくり②

紀宝町商工会共通商品券発行事業 4,000千円

拡充

地域の消費拡大を促し、商工業の振興及び活性化に寄与するため、商工会が発行する商品券にプレミアム(20%)を付加し、物価高騰による町民の生活支援、地域経済の活性化を図ります。



担当課:産業振興課

雇用創出マッチング事業 1,200千円

継続

少子化の影響等により求人が困難となっている事業者の支援を図るため、町内企業の情報発信（冊子の作成）や、就職説明会を行います。



担当課:産業振興課

創業支援助成事業 2,000千円

継続

町内での創業を促進させ、商工の活性化を図るため、起業する際に必要な改修工事費等の補助を行います。

補助内容: 事業費の1/2
(上限50万円)



担当課:産業振興課

木造住宅建設促進事業 5,500千円

継続

移住定住の促進を図るため、町内にて熊野材を使用し、新築・増築する者に対して補助を行います。

補助内容: 上限50万円



担当課:産業振興課

基本目標4. いつでもどこでも学べる教養豊かなまちづくり①

給食費無償化事業 36,904千円

継続

子育て世帯の経済的な負担の軽減を図り、子どもの育てやすい環境を整え、子育て世帯の定住を促進するため、給食費の無償化を実施します。

- ・ 幼稚園：226.4万円
- ・ 小学校：2,117.8万円
- ・ 中学校：1,227.4万円
- ・ 特別支援学校等（小・中）
：118.8万円



担当課：教育課

学習用端末更新事業 51,700千円

新規

令和2年度にGIGAスクール構想で整備された一人1台端末を、新たな端末に更新することにより、より一層「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図ります。

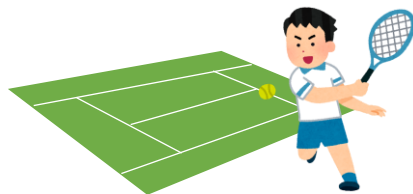


担当課：教育課

鵜殿運動場テニスコート改修事業 28,596千円

新規

鵜殿運動場テニスコートの長寿命化、適切な維持管理のため、人工芝の張替え工事を行い、安心・安全面の充実を図ります。



担当課：教育課

まなびの郷照明器具LED化改修事業
47,267千円

継続

蛍光灯の製造と輸出入が2027年末までに終了するため、長寿命かつ低消費電力のLED照明に更新します。



担当課：教育課

基本目標4. いつでもどこでも学べる教養豊かなまちづくり②

サポートスクール事業 2,562千円

継続

放課後や長期休業中に学習時間を設定し、講師が児童の自主学習を支援することにより、学習に対する意欲の喚起と学力向上を図ります。



担当課:教育課

検定チャレンジ補助事業 320千円

継続

小・中・高校生の学習意欲及び学力向上と経済的負担の軽減を目的に、TOEIC・英検・数検・漢検等の様々な検定料を補助します。

対象：町内に住民登録のある小・中・高校生

補助対象：検定料の1/2
(年間上限4,000円)

※1人につき年2回まで



担当課:教育課

元気キッズ体験学習事業 1,400千円

継続

子どもの幅広く豊かな学びと、多様化する社会に対応できる子どもの成長に寄与するため、学校支援事業「体験学習・地域学習」や、子育て支援事業「各種体験教室」を行います。



担当課:教育課

文化振興事業 1,600千円

継続

町内の文化活動の振興を図るため、紀宝町文化協会が主催となり、さまざまな事業を開催します。



担当課:教育課

基本目標5. 住民と行政の協働によるまちづくり

合併20周年記念事業 7,995千円

新規

令和8年1月10日に、町制20周年を迎えるにあたり、記念式典・講演会などを実施するとともに、町の概要、観光地、アクティビティなどの魅力を発信するため、町勢要覧及びPR動画を作成します。

- ・合併20周年記念事業 450万円
- ・町勢要覧作成事業 219.5万円
- ・PR動画作成事業 130万円

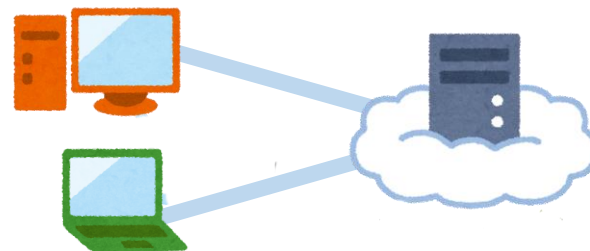


担当課:総務課、企画調整課

総合住民情報システムの標準化・共通化に伴う
構築及び運用事業 184,808千円

新規

標準化法に基づき総合住民情報システムをガバメントクラウド上の標準準拠システムへ移行及び運用します。



担当課:企画調整課

総合計画および総合戦略策定事業 3,564千円

新規

令和9年度から計画期間が開始される第3次総合計画及び第3期総合戦略を策定します。



町の
将来像

担当課:企画調整課

広域可燃ごみ処理施設整備事業
(東紀州環境施設組合負担金) 125,323千円

継続

令和10年度稼働予定の広域可燃ごみ処理施設整備に係る負担金で、2市3町で分担し負担します。



担当課:環境衛生課

基本目標 1. 自然と共生し、安全・安心で快適に暮らせるまちづくり

〈主要事業一覧〉

区分	事業名	予算額	担当課	主な事業内容
継続	自転車用ヘルメット購入補助事業（再掲）	400	総務課	自転車乗車時の事故や転倒から頭部を守る自転車用ヘルメットの着用を促進するため、補助金を支給する。【購入金額の1/2（上限2,000円）】
継続	高齢者運転免許証自主返納支援事業	1,500	総務課	運転免許証を自主返納した65歳以上の方に、交通手段の支援のためにタクシー利用券（200円×100枚）と共通商品券（500円×20枚）を助成する。
継続	防犯灯設置事業	1,500	総務課	各地区からの要望により防犯灯の新規設置を行う。
継続	カーブミラー新規設置及び修繕事業	1,000	総務課	カーブミラーの新規設置及び修繕を行う。
継続	津波避難タワー整備事業（再掲）	159,000	防災対策課	津波による被害が想定される地域の中でも、近くの安全な高台等への避難が困難と想定される地域において、緊急的に一時避難するための避難タワーを整備する。（鵜殿地区：1基）
継続	蓄電池式避難誘導灯整備事業（再掲）	15,610	防災対策課	停電時や夜間の避難がスムーズにできるよう避難場所及び主要避難路に、蓄電池式の外灯を整備する。（神内、鮎田、高岡地区）（70基）
拡充	木造住宅耐震診断事業（再掲）	3,300	防災対策課	地震に強いまちづくりを進めることを目的として、旧建築基準法（昭和56年5月以前）で建てられた木造住宅を対象に、耐震診断を無料で実施する。
拡充	木造住宅耐震補強補助事業（再掲）	23,850	防災対策課	地震による住宅の倒壊を防ぐため、旧建築基準法（昭和56年5月以前）で建てられた木造住宅に対し、耐震設計・耐震補強工事・リフォーム工事にかかる費用の一部を補助する。 ①耐震補強設計（最大34万円） ②耐震補強工事（最大157.5万円） ③リフォーム工事（事業費の1/3、最大20万円）
継続	津波避難路ブロック塀等除却改修補助事業	2,000	防災対策課	避難路等に面する危険なブロック塀等を除却又は改修にかかる費用の一部を補助する。【事業費の2/3、最大20万円】
新規	成川高台防災公園整備事業	2,500	防災対策課	通常時は、誰もが集える場所、災害時は、仮設住宅の建設ができるよう防災公園を整備する。

区分	事業名	予算額	担当課	主な事業内容
継続	感震ブレーカー購入補助事業（再掲）	3,000	防災対策課	地震に伴う通電火災を予防することを目的に、地震の揺れによってブレーカーが自動的に落ちる機器の購入にかかる費用の一部を補助する。【最大3,000円】
継続	避難路整備事業	3,000	防災対策課	災害時に避難者が避難場所へ安全に移動することができる通路などを整備する。
新規	新防災情報共有システム改修事業（再掲）	48,500	防災対策課	現行システム機能の強化を図るとともに、住民向けアプリを導入し、容易に情報が得られるようシステム改修を行う。
新規	避難誘導看板整備事業（再掲）	2,695	防災対策課	誰もがわかり易く、より安全・安心な避難路にするため、夜間でも確認できる蓄光式避難路誘導看板を整備する。（鶴殿、成川、井田地区）
新規	災害タイムライン作成事業	6,182	防災対策課	様々な災害に備え、事前防災行動計画（タイムライン）を作成する。 ①地震津波タイムライン（成川地区）②風水害地区タイムライン（井田地区）③南海トラフ地震臨時情報タイムライン
継続	家具転倒防止器具等購入補助事業	75	防災対策課	地震時における人的被害の軽減を図ることを目的に、住居内の家具転倒防止器具やガラス飛散防止フィルム等の購入にかかる費用の一部を補助する。 【最大5,000円】
継続	災害時要支援者宅家具固定事業	158	防災対策課	災害時要支援者宅の地震に対する安全性の向上、および地震災害時の被害軽減を図ることを目的に、転倒防止器具3点の取付を無料で実施する。（10件）
継続	住宅用火災警報器補助事業	250	防災対策課	火災に対する迅速な対応が可能となる住宅用火災警報器の購入にかかる費用の一部を補助する。 ①一般世帯（購入費用の1/2 最大5,000円） ②65歳以上の世帯（最大5,000円）
継続	耐震シェルター設置補助事業	1,000	防災対策課	耐震診断の評点が0.7未満と診断された住宅の1部屋補強工事や耐震ベッド設置にかかる費用の一部を補助する。【事業費の2/3、最大100万円】
継続	消防団車両更新事業（再掲）	8,800	防災対策課	消防車両の更新計画に基づき、消防団第2分団に配備している小型動力ポンプ積載自動車の更新する。

区分	事業名	予算額	担当課	主な事業内容
新規	鮎田班消防車庫兼避難所建設事業	38,500	防災対策課	大規模災害に備え、老朽化した消防団の重要な活動拠点施設である消防車庫を建設するとともに、避難所としても活用できる施設を整備する。
継続	町有地造成・分譲事業（再掲）	400	企画調整課	移住定住の促進を図るため、造成した町有地（鵜殿上野平地区）を分譲する。
継続	若者応援民間賃貸住宅家賃助成事業（再掲）	2,400	企画調整課	若者の定住を促進し、地域の活性化を図るため、R6.4.1以降に転入・転居された方を対象に町内の民間賃貸住宅の借上げに対し、助成する。 【月額家賃の1/2、月額上限2万円、最長24か月、40歳未満】
継続	マイホーム取得資金利子補給金事業（再掲）	3,500	企画調整課	R6.4.1以降に金融機関からマイホーム取得資金の融資を受け、町内に本人及びその家族が居住する新築または中古住宅を取得した方へ、融資利子に対し、補給金を支給する。 【最初の償還月から起算して60カ月、申請年度中に支払った利子の1/2以内の額、上限10万円、年齢制限なし】
継続	結婚新生活支援補助事業	4,500	企画調整課	結婚を機に住居を購入、または住居を借りるための費用（引越し費用含む）を補助する。 【夫婦ともに39歳以下の新婚世帯最大30万円、夫婦ともに29歳以下の場合は最大60万円 所得制限あり】
継続	ハッピーマリッジ祝い金事業	900	企画調整課	結婚新生活支援事業の対象外の新婚世帯及びパートナーシップを宣誓された2人に対して、3万円の祝い金を支給する。
継続	移住新生活応援事業	2,000	企画調整課	県外から移住した方に対し、生活費の一部（最大5万円分の共通商品券）を助成する。
継続	住宅購入支援事業	4,000	企画調整課	新築または中古住宅を購入した方に対し、購入費用の一部（最大5万円分の共通商品券）を助成する。 【義務教育修了前の子ども加算あり（1人につき5万円分の共通商品券）】
継続	空き家改修支援事業	1,000	企画調整課	購入した空き家の改修工事を町内の建設業者の施工で行う場合に、工事費用の一部（最大10万円分の共通商品券）を助成する。

区分	事業名	予算額	担当課	主な事業内容
拡充	空き家リノベーション支援事業	1,875	企画調整課	町外から移住する方が空き家を改修して居住する場合、改修費用の一部（最大50万）を補助する。（県外からの転入の場合は最大12.5万円の加算あり）
継続	空き家バンク登録促進助成事業	800	企画調整課	空き家バンクに物件を登録するため、町内業者に委託し、空き家の清掃や家財道具の残置物を搬出・処理する場合の費用の一部（最大3万円）を助成する。また、町内の建設業者の施工で修繕を行う場合に工事費用の一部（最大10万円）を助成する。
継続	地域おこし協力隊活動費補助事業	2,800	企画調整課	空き家対策に従事する地域おこし協力隊（2名）の活動費を補助する。
継続	高齢者等おでかけ応援電動車等購入支援事業	2,040	企画調整課	高齢者等の移動手段の確保を図り、社会参加の促進、心身の健康増進、介護予防の推進などを目的とし、電動車等の購入費用の一部を補助する。 【本体購入費用1/2 補助対象車両により上限あり ※自動車運転免許証を自主返納された方は加算あり】
継続	自主運行バス業務委託事業	62,769	企画調整課	町民バス（相野谷線・浅里鶴殿線・紀南病院線）を運行し、買い物や通院など日常生活における公共交通の維持を図る。
新規	空き家対策（活用）・移住定住サポートデスク運営事業	6,130	企画調整課	移住定住サポートデスクによる更なる空き家バンク登録推進及び情報発信の強化を図る。 ①地域おこし協力隊サポート業務委託：200万円 ②移住定住支援員：80万円 ③マッチングサイト利用料：77万円 ④空き家調査委託業務：100万円 ⑤空き家相談窓口設置：156万円
新規	紀宝町地域公共交通活性化協議会負担金	9,000	企画調整課	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年法律第41号）に基づき、地域住民が利用しやすい公共交通ネットワークの形成のため計画を策定する。
継続	空き家バンク登録奨励金事業	350	企画調整課	地区の方から空き家バンクへの登録物件や登録された空き家へ入居者を紹介いただいた際に地区へ奨励金を支給し、空き家の利活用を促進する。 登録：2万円/件 成約：3万円/件
継続	雨水タンク設置補助交付事業	300	環境衛生課	大雨が降ったときの雨水の流出抑制や、雨水の再利用等水資源を有効利用できる雨水タンクを設置する者に対し、設置費用の一部（上限3万円）を補助する。

区分	事業名	予算額	担当課	主な事業内容
継続	塵芥収集車両更新事業	10,069	環境衛生課	塵芥収集車の更新計画に基づき、3 t パッカー車を更新する。
継続	紀宝町生ごみ処理容器購入費補助金事業	90	環境衛生課	町内の各家庭から排出される生ごみの減量化及びその堆肥としての再生利用を図り、生活環境の保全及び公衆衛生に資するため、生ごみ処理容器（電気式または容器式）を購入する者に対し、購入費用の1/2（上限3万円）を補助する。
新規	送風機等購入事業	768	環境衛生課	紀宝町リサイクルセンターでの分別作業環境改善のため、送風機等を整備する。
新規	避難行動要支援者名簿システム構築導入事業（再掲）	1,894	福祉課	名簿システムの導入により、避難行動要支援者名簿作成の作業時間の短縮と名簿管理を効率的に行う。また、要支援者の状況の記録管理等を行い、個別避難計画の作成につなげる。
新規	災害避難時タクシー利用料助成事業（再掲）	300	福祉課	高齢化や障がいにより移動が困難な要支援者が、台風や災害などの発生に備えて避難する際のタクシー利用料金の一部を助成する。 一般タクシーを利用の場合：上限2,000円（片道1回の利用につき） 介護タクシーを利用の場合：上限3,000円（片道1回の利用につき）
新規	紀宝町福祉センター設備等改修事業（再掲）	10,717	福祉課	紀宝町福祉センターの受変電設備やエレベーター等の改修を行う。
新規	特殊詐欺等被害防止機器購入費補助事業（再掲）	300	産業振興課	特殊詐欺などの犯罪を抑止するための電話機等の購入および設置にかかる経費に対し補助する。【購入費用1/2（上限1万円）】
継続	道路橋梁新設改良事業	244,747	基盤整備課	町道の改良整備や排水路・舗装等の修繕工事、橋梁の長寿命化を図るため、損傷や劣化の有無を把握する点検や修繕工事を行う。
継続	建物解体助成事業	7,500	基盤整備課	町内の住環境の向上及び町民の安全、安心の確保並びに災害の未然防止を図るため、町内の空き家の解体撤去に係る費用の一部を予算の範囲内において交付金を交付する。 【解体費用2/3（上限50万円）】

基本目標 2. とともに支え合う、やさしさあふれるまちづくり

区分	事業名	予算額	担当課	主な事業内容
継続	重層的支援体制整備事業	19,172	福祉課	複合化・複雑化した課題に対して、介護・障がい・子ども・生活困窮等の各分野における支援事業を一体的・重層的に実施する支援体制の整備を行う。
新規	地域活動支援センター事業（再掲）	4,000	福祉課	障がいのある方の地域生活支援の促進を図るため、創作的活動又は生産活動の機会の提供や、社会との交流の促進等の便宜を供与する地域活動支援センターの機能を強化する。
新規	生活困窮者支援等のための地域づくり事業（再掲）	3,319	福祉課	地域住民のニーズ・地域課題の把握、地域コミュニティを形成する居場所づくり等を通じて、身近な地域における共助の取組みを活性化させ、地域福祉の推進を図る。
新規	障がい者グループホーム整備費補助金（再掲）	3,000	福祉課	障がいのある方の自立した生活の促進を図ることなどを目的にし、施設の建設、改修、備品購入等にかかる費用を一部補助する。
新規	子育て短期支援（ショートステイ）事業	481	福祉課	養育が困難な保護者の負担を和らげ、虐待等の可能性を未然に防ぐことを目的とし、児童養護施設などに短期で預ける。
新規	ひとり親家庭等日常生活支援事業（ヤングケアラー対策事業）（再掲）	731	福祉課	母子家庭、父子家庭及び寡婦の皆さんが、安心して子育てをしながら生活することができる環境をつくるため、仕事や疾病などにより一時的に家事援助、保育等のサービスが必要の際に、家庭生活支援員を派遣する。
新規	福祉医療費窓口無料化システム改修事業（再掲）	385	福祉課	国民健康保険加入者が、和歌山県新宮市内の医療機関を受診した際の窓口無料化の対象年齢を未就学児から18歳年度末まで拡充するために、システムを改修する。
新規	放課後児童クラブICT環境整備事業（再掲）	1,226	福祉課	放課後児童クラブにおける業務のICT化を推進し、保護者の利便性の向上、負担軽減、及び支援員の業務軽減につなげ、学童保育の質の向上を図るため、放課後児童クラブ業務支援システムを導入する。
継続	放課後児童クラブきほっこ委託事業	22,567	福祉課	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生の健全な育成に資するため、学童保育事業を放課後児童クラブへ委託する。
拡充	放課後児童クラブ利用者負担軽減事業	4,410	福祉課	子育て世帯への支援策として、保護者月額負担金9,000円を8,000円に軽減する。この軽減に伴い、小学4年生以上の高学年、多子世帯や低所得世帯への負担金についても軽減する。

区分	事業名	予算額	担当課	主な事業内容
拡充	子ども医療費助成事業	30,000	福祉課	18歳年度末までの子どもを対象とし、保険診療の自己負担分を助成する。さらに、国民健康保険加入者が、新宮市内医療機関を利用した場合の窓口無料化の対象年齢を、未就学児から18歳年度末まで拡充し助成する。
拡充	一人親家庭等医療費助成事業	7,923	福祉課	18歳年度末までの児童を扶養している一人親親家庭の父または母およびその児童を対象とし、保険診療の自己負担分を助成する。さらに、国民健康保険加入者が、新宮市内医療機関を利用した場合の窓口無料化の対象年齢を、未就学児から18歳年度末まで拡充し助成する。
拡充	障がい者医療費助成事業	29,958	福祉課	身体障がい者手帳1～3級、療育手帳AまたはB1中等等の認定を受けた方を対象とし、保険診療の自己負担分を助成する。さらに、国民健康保険加入者が、新宮市内医療機関を利用した場合の、窓口無料化の対象年齢を未就学児から18歳年度末まで拡充し助成する。
拡充	生活支援体制整備事業 (生活支援モデル事業)	1,000	福祉課	担い手やヘルパーが不足する中で、紀宝町社会福祉協議会に委託する生活支援体制整備事業（生活支援モデル事業）で、新たな担い手養成やヘルパーにつながる取り組みを拡充し、生活支援の必要な高齢者を支える。
継続	老人医療費助成事業	4,715	福祉課	65歳～69歳の方を対象とし、1つの医療機関で1ヵ月に支払った金額が、保険の適用のものについて8,000円を超える時、自己負担分の一部を助成する。
継続	高齢者祝い金等支給事業	7,205	福祉課	81歳以上の高齢者に対しての祝い金や100歳を迎えた高齢者への記念品を支給することにより、高齢者の保健の向上に寄与するとともに、高齢者福祉の増進を図る。
継続	介護手当支給事業	3,600	福祉課	介護の程度が重く、常時介護が必要な方を介護している方に介護手当（月額5,000円）を支給する。
継続	高齢者補聴器購入費助成事業	750	福祉課	高齢者の社会参加及び地域交流を支援するため、聴力機能の低下により日常生活に支障がある高齢者に、補聴器の購入に要する費用を助成する。【上限3万円】
継続	家族介護用品支給事業	2,880	福祉課	寝たきりの高齢者や認知症の高齢者等を在宅介護する家族等に対して、紙おむつや尿取りパット等の介護用品（月額6,000円分）を支給する。
継続	遊び場開放事業	2,476	福祉課	子どもたちの安心安全な居場所づくりと自主的な遊び場を提供することを目的に遊び場を開放する。 【井田公民館、中村多目的集会施設、神内構造改善センター】

区分	事業名	予算額	担当課	主な事業内容
継続	チャイルドシート購入事業	1,020	福祉課	6歳未満の幼児の保護者に対し、チャイルドシートの購入に要する経費の一部を助成する。【第1子：購入価格の1/2（上限1万円）第2子：購入価格の2/3（上限1.5万円）第3子以降：購入価格の3/4（上限2万円）】※子ども1人に対して2回まで助成
継続	出産祝い金事業	4,900	福祉課	合計特殊出生率の向上による人口減少対策を図り、「まちの宝」の誕生を祝うため、出産祝い金を支給する。 【第2子：10万円、第3子：20万円、第4子以上：30万円】
継続	保育所等給食費無償化事業（再掲）	8,806	福祉課	子育て支援、少子化対策として、保育所等の給食費の無償化を行う。 （保育所：805.2万円、児童発達支援施設：75.4万円）
継続	保育所保育料等第2子以降無償化事業（再掲）	6,324	福祉課	子育て支援、少子化対策として、第2子以降の保育所保育料等の無償化を行う。 （保育所：604.8万円、児童発達支援施設：27.6万円）
継続	ひとり親家庭小学校入学祝金支給事業	300	福祉課	小学校に入学する児童を養育するひとり親家庭に対し、小学校入学祝金として一人あたり3万円を支給する。
継続	健康診査受診対策事業	742	福祉課	町が実施する健康診査を受診した方を対象に、抽選で商品券が当たる健康診査受診対策事業等を実施し、受診率の向上を図る。
継続	医療的ケア児在宅レスパイト業務委託事業	720	福祉課	在宅の医療的ケア児及びその看護や介護を行う家族の負担を軽減する目的とし、町から委託を受けた事業者が、訪問看護療養費の適用を超える自宅利用や訪問看護療養費の適用外となる自宅外での訪問看護サービスを提供する。
継続	地域子育て支援拠点事業	9,672	みらい健康課	育児不安等についての相談指導、子育てサークルの育成・支援等、子どもの健やかな育ちを支援するため、紀宝町地域子育て支援センター事業を実施する。
継続	子育て用品支給事業（再掲）	682	みらい健康課	育児にかかる経済的な負担を軽減し、安心して子育てができる環境を提供するため、1歳までの乳児を養育している家庭へ、おむつやおしりふきなどの子育て用品等を支給する。
継続	不妊治療支援事業	3,965	みらい健康課	遠方の医療機関において不妊治療を受ける際に、通院に要した交通費及び宿泊費を助成する。【上限（交通費：2.5万円、宿泊費：5,000円/泊）】

区分	事業名	予算額	担当課	主な事業内容
継続	介護予防事業	15,775	みらい健康課	各種運動教室のさらなる充実を図るため、フィットネスジムと連携した体験トレーニングを実践し、介護予防の啓発・周知とあわせ、高齢者の自主的な取り組みを支援する。
新規 拡充	予防接種助成事業（再掲）	7,308	みらい健康課	新たに带状疱疹予防接種（定期接種以外）と子どもの季節性インフルエンザ予防接種に係る費用の一部を補助します。また、現行のおたふくかぜ予防接種に係る費用の一部補助内容を拡充する。 【带状疱疹】（新規） 不活化ワクチン:1万円（2回）、生ワクチン:4,000円（1回） 【子どもの季節性インフルエンザ】（新規） 13歳未満:1,500円（2回）、13歳以上:1,500円（1回） 【おたふくかぜ】 対象者:就学前児童、補助額:4,000円、補助回数：2回分
新規	健康まつり事業（再掲）	1,219	みらい健康課	心身ともに健康な生活を送るため、町民が自分の健康に関心を持ち、自分に合った健康づくりの方法を見つけるなど健康づくりへの意識の高揚を図るため、「健康まつり」を開催し、各種検診、検査、測定などを行う。
新規	きほう健康ふらざ地域支援保健事業（再掲）	474	みらい健康課	町民の健康状態を把握し、健康的な生活を送るための支援を行うことを目的とし、保健師が定期的に町内の商業施設や事業所、町民の方々が集まる活動場所等へ巡回したり、ご自宅を訪問し、健康相談等を行う。

基本目標 3. 賑わいと活力あふれる産業・交流のまちづくり

区分	事業名	予算額	担当課	主な事業内容
新規	ウミガメ公園物産館改修事業	2,921	企画調整課	物産館のエレベーターの改修及び階段クロスの張り替えを行う。
継続	紀宝みなとフェスティバル実行委員会負担金	8,000	企画調整課	紀宝みなとフェスティバルを開催するための負担金。
継続	ほたるを守る会補助事業	300	企画調整課	ほたるを守る会の活動を補助する。
継続	移住体験ツアー負担金（再掲）	250	企画調整課	尾鷲市・熊野市・御浜町との合同により、都市部等に在住する移住検討者に対し、田舎暮らし体験ツアーを実施する。
継続	移住支援金補助事業	3,000	企画調整課	東京圏から移住し、要件を満たした場合に支援金を支給する。 【世帯：100万円 ※子ども加算（100万円/人） 単身：60万円】
継続	若者定住促進奨学金返還支援事業（再掲）	800	企画調整課	返還した奨学金の全額または一部（最大10万円/年）を最長5年間にわたって支給する。【基準日時点で39歳以下】
継続	活力あふれる若者定住応援事業（再掲）	1,000	企画調整課	高校・大学等を卒業後または町外から転入し、地元企業等に就職した方等に市町村民税相当額（最大5万円/年）を最長5年間にわたり支給する。
継続	婚活支援事業（再掲）	2,399	企画調整課	当地域内での出会いの場を創出し、婚活を支援するため、婚活イベントや交流イベント及び婚活セミナーを開催する。
継続	都市部への移住促進PR事業	1,571	企画調整課	都市部（東京・大阪・名古屋）における移住相談会等を通して移住検討者に対して町の魅力を発信する。
継続	ふるさと応援団員との交流事業	220	企画調整課	ふるさとマイレージ（プレゼント）企画を通じて「紀宝町ふるさと応援団」の方々にも魅力発信を行っていただくことによる関係人口の増加にも努めながら情報発信の強化を図る。

区分	事業名	予算額	担当課	主な事業内容
新規	熊野川体感塾運営負担金	600	企画調整課	伝統ある三反帆による遊覧事業を展開する「熊野川体感塾」の運営について支援する。
継続	紀宝町花火大会実行委員会負担金	300	企画調整課	花火大会開催に係る負担金。
継続	東紀州自転車活用事業負担金	1,132	企画調整課	東紀州自転車活用に係る負担金。
継続	お試し住宅事業	353	企画調整課	移住を検討されている方を対象に最長6泊7日間無料で泊まれる住宅を運営する。
新規	鵜殿港入口観光看板ライト取替事業	780	企画調整課	鵜殿港入口にある観光看板のライトの取り替えを行う。
継続	デジタル観光コンテンツ作成事業	400	企画調整課	SNSに特化した町のPR動画を作成する。
継続	雇用創出マッチング事業（再掲）	1,200	産業振興課	町内企業の情報発信（冊子の作成）や、就職説明会の開催を行う。
継続	新規就農者補助事業	8,700	産業振興課	国の新規就農者総合対策を活用し、認定新規就農者などに経営開始資金の支援を行う。 【年間150万円/人 最長3年間】
継続	店舗等魅力アップ事業	2,500	産業振興課	飲食業、小売業及びサービス業の店舗等で経営を行っている事業者に対し、魅力アップのための改修工事等の1/2、上限50万円の補助を行う。
継続	創業支援助成事業（再掲）	2,000	産業振興課	起業する際に必要な改修工事費等の1/2、上限50万円の補助を行う。

区分	事業名	予算額	担当課	主な事業内容
拡充	紀宝町商工会共通商品券発行事業（再掲）	4,000	産業振興課	商工会が発行する商品券にプレミアム（20%）を付加し、物価高騰による町民の生活支援、地域経済の活性化を図る。
継続	6次産業化に向けた商品開発相談会事業	2,100	産業振興課	産物の付加価値の向上を図るため、専門家の相談会を開催し、6次産業化、経営の高度化を促すとともに、人材育成などを一体的に進める。
継続	有害鳥獣駆除補助事業	5,680	産業振興課	ニホンザル、イノシシ、ニホンジカ等の有害捕獲に対して補助金を支給する。
継続	木造住宅建設促進事業（再掲）	5,500	産業振興課	町内にて熊野材を使用し、新築・増築する者に対して上限50万円の補助を行う。
継続	みえ森と緑の県民税事業	9,571	産業振興課	「みえ森と緑の県民税」を活用し、生活環境林の整備や森と緑の環境教育などの事業を実施する。
継続	森林環境譲与税事業	30,874	産業振興課	「森林環境譲与税」を活用し、森林経営管理制度に基づく経営管理意向調査、境界明確化、森林整備などの事業を実施する。
継続	就労体験事業	300	産業振興課	移住を検討している方を対象に地元企業での就労体験を行う。
継続	空き店舗再生事業	1,680	産業振興課	空き店舗を活用し、飲食業、小売業及びサービス業を行う事業者に対し、改修工事費等の1/2（上限30万円）、賃借料月額の2/3（上限3万円、最長1年間）の補助を行う。

基本目標 4. いつでもどこでも学べる教養豊かなまちづくり

区分	事業名	予算額	担当課	主な事業内容
継続	給食費無償化事業（再掲）	36,904	教育課	子育て世帯の経済的な負担の軽減を図り、子どもの育てやすい環境を整え、子育て世帯の定住を促進する。
継続	検定チャレンジ補助事業（再掲）	320	教育課	学習意欲及び学力向上と保護者の経済的負担の軽減を目的に、TOEIC・英検・数検等の様々な検定費用の1/2（年間上限4,000円）を補助を行う。
継続	就学援助費交付事業	5,778	教育課	経済的理由によって、就学困難と認められる小中学校の児童生徒の保護者に対し、学用品・修学旅行などの就学費用の援助を行う。【各項目で上限などあり】
継続	就学奨励費交付事業	1,245	教育課	小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対して、学用品や修学旅行などの就学費用の1/2（上限あり）を援助を行う。
継続	サポートスクール事業（再掲）	2,562	教育課	放課後や長期休業中に学習時間を設定し、講師が児童の自主学習を支援することにより、学習に対する意欲の喚起と学力向上を図る。
新規	中学校教師用指導書・教科書購入事業	4,559	教育課	4年に1度の中学校の教科書入れ替えに伴い、教師用の教科書、指導書を購入し、授業改善、指導力向上を図る。
継続	学習用端末活用事業	1,137	教育課	授業支援システムを活用し、「誰一人取り残さない授業」「主体的・対話的で深い学び」を実践し、一人一台端末の活用を充実させ、学力の向上を図る。
新規	学習用端末更新事業（再掲）	51,700	教育課	学習用端末を更新し、より一層「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る。
継続	スポーツ振興補助事業	1,050	教育課	各種スポーツ大会の県大会等に参加する場合の旅費、宿泊費等の補助を行う。【上限2万円/人（選手・コーチ）※1大会につき】
新規	鵜殿運動場テニスコート改修事業（再掲）	28,596	教育課	鵜殿運動場テニスコートの長寿命化、適切な維持管理のため、人工芝の張替え工事を行い、安心・安全面の充実を図る。

区分	事業名	予算額	担当課	主な事業内容
継続	まなびの郷照明器具ＬＥＤ化改修事業（再掲）	47,267	教育課	蛍光灯の製造と輸出入が2027年末までに終了するため、長寿命かつ低消費電力のLED照明に更新する。
継続	まなびの郷コンサート等イベント事業	1,000	教育課	生涯学習の推進及び文化活動の推進を図るため、まなびの郷イベント実行委員会主催のコンサート等のイベントを行う。
継続	元気キッズ体験学習事業（再掲）	1,400	教育課	子どもの幅広く豊かな学びと、多様化する社会に対応できる子どもの成長に寄与するため、学校支援事業「体験学習・地域学習」や、子育て支援事業「各種体験教室」を行う。
継続	京城跡保存・活用・整備事業	663	教育課	京城跡保存活用計画に基づき、京城跡保存・活用・整備検討委員会において協議・検討を重ね、案内看板の設置や支障木の伐採などの環境整備を行う。
継続	青少年健全育成事業	1,150	教育課	青少年の健全な育成を図るため、各地区青少年育成部と協力し、あいさつ運動、非行防止パトロール、夏休みの体験学習、少年の主張への協力等を行う。
継続	まなびの郷ボランティア事業	1,200	教育課	生涯学習の推進及び子どもの居場所づくりの充実を図るため、会員の知識や経験を活かし、楽しみながら学び体験できるイベントを行う。
継続	生涯学習事業講座「まなびの学級」事業	749	教育課	生涯にわたる学習活動を通じて、生きがい対策の充実を図り、地域社会への参加活動を促進するため、各種講座を開催する。
継続	文化振興事業（再掲）	1,600	教育課	町内の文化活動の振興を図るため、紀宝町文化協会が主催となり、さまざまな事業を開催する。
継続	人権啓発事業	220	教育課	人権問題に関して正しい理解と認識を深め、人権を尊重する意識の向上を図るため、人権講演会や人権啓発映画上映会等を行う。

基本目標 5. 住民と行政の協働によるまちづくり

区分	事業名	予算額	担当課	主な事業内容
新規	合併20周年記念事業（再掲）	4,500	総務課	令和8年1月10日に町制20周年を迎えるにあたり、記念式典及び講演会などを実施する。
継続	集会施設電気料補助事業	1,664	総務課	町内各自治会が管理する集会施設（23施設）の電気料を補助する。
継続	集会施設水道料補助事業	396	総務課	町内各自治会が管理する集会施設（23施設）の水道料を補助する。
継続	防犯灯電気料補助事業	4,340	総務課	町内各自治会が管理する防犯灯の電気料を補助する。
継続	防犯灯維持費補助事業	3,000	総務課	町内各自治会が管理する防犯灯の維持修繕費用を補助する。
継続	防犯灯修繕事業	1,039	総務課	町で管理している防犯灯の修繕を図る。
継続	広報公聴事業	3,852	企画調整課	広報きほう及びホームページ等を通して、町政情報を発信するとともに、町政に対する提案や要望などを行政に反映できるように努める。
新規	町勢要覧作成事業（再掲）	2,195	企画調整課	町制20周年を記念し、町の概要や魅力を町内外に発信するための新たな町勢要覧を作成する。
継続	石川県中能登町との交流事業	1,405	企画調整課	姉妹町提携・災害時相互応援協定を締結している石川県中能登町との交流を図る。
継続	D X 推進事業	3,917	企画調整課	進化したIT技術を活用し、町民の利便性を向上させるとともに、業務の効率化を図る。

区分	事業名	予算額	担当課	主な事業内容
継続	電算事務処理及びOA機器等保守点検委託事業	100,649	企画調整課	総合住民情報・戸籍・国税連携・マイナンバー及び内部情報系システムにかかる各システムの電算事務処理利用料及び機器の保守点検料。
新規	生成AIシステム活用事業	2,090	企画調整課	生成AIを活用し、業務効率化を図る。
新規	総合住民情報システムの標準化・共通化に伴う構築及び運用事業（再掲）	184,808	企画調整課	標準化法に基づき総合住民情報システムをガバメントクラウド上の標準準拠システムへ移行するとともに、移行後のシステム使用料およびガバメントクラウド利用に係る費用。
継続	第4次男女共同参画プラン策定事業	224	企画調整課	「男女が支えあい尊重しあえるまちづくりをめざして」を基本理念とし、「第4次男女共同参画プラン」を策定する。
新規	令和7年国勢調査	6,707	企画調整課	5年ごとに日本に住んでいるすべての人及び世帯を対象とする国の最も重要な統計調査である国勢調査を実施する。
新規	PR動画作成事業（再掲）	1,300	企画調整課	町制20周年を記念し、町の観光地やアクティビティの魅力を発信する動画を作成する。
新規	総合計画および総合戦略策定事業（再掲）	3,564	企画調整課	令和9年度から計画期間が開始される第3次総合計画及び第3期総合戦略を策定する。
継続	広域可燃ごみ処理施設整備事業（東紀州環境施設組合負担金）（再掲）	125,323	環境衛生課	令和10年度稼働予定の広域可燃ごみ処理施設整備に係る負担金。